



## Development of High Carbon HISTORY Steel Tube with Excellent Formability



### 要旨

川崎製鉄は、次世代電縫鋼管製造技術としての HISTORY プロセスを開発した。このプロセスでは、世界で初めて電縫鋼管の温間縮径圧延を採用したことにより、多くの新機能を有する鋼管を製造できる。高炭素鋼管の場合には、温間縮径圧延により、従来の焼鈍法では数時間が必要であったセメントタイトの球状化を数秒で完了させることが可能で、高加工性の鋼管を高生産性で製造できる。この高

Yoshikazu Kawabata  
技術研究所 鋼管・鋳  
物研究部門 主任研究  
員(課長)

Takatoshi Okabe  
技術研究所 鋼管・鋳  
物研究部門 主任研究  
員(主席掛長)

Yasue Koyama  
知多製造所 商品技術  
部 主査(部長補)

できたり、冷間での加工力を小さくできるなどのメリットが得られる。

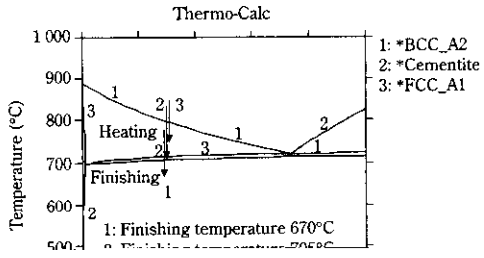
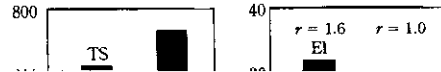
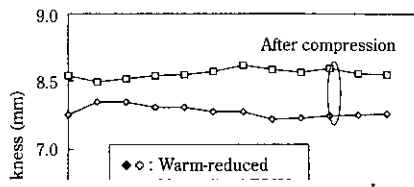


Table 1 Chemical composition

(mass%)

C	Si	Mn
0.42	0.2	1.4





YS (MPa)	354	369
TS (MPa)	493	497
r value	2.37	0.98

